

# 平成30年度 全国学校保健・安全研究大会 開催要項

## 1 趣旨

近年の社会環境や生活環境の急激な変化は、子供の心身の健康にも大きな影響を与えており、学校生活においても生活習慣の乱れ、いじめ、不登校、ストレスによる心身の不調などのメンタルヘルスに関する課題、アレルギー疾患、性に関する問題行動や喫煙・飲酒・薬物乱用、感染症など、現代的な健康課題が深刻化している。また、登下校中の交通事故や事件、校舎からの転落事故への対応など、学校管理下における子供の安全確保が重要な課題となっている。更には、東日本大震災をはじめ各地で発生する自然災害等を鑑みた「防災教育」の充実、原子力災害への対応など、新たな課題も発生してきている。

これらの課題解決を図るためには、学校全体として学校保健・学校安全に取り組む校内の組織体制を整備するとともに、学校・家庭・地域が一体となり、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育む教育を推進する必要がある。

本大会は多年の研究の成果を踏まえ、生涯にわたり心豊かにたくましく生きる子供の育成を目指して、健康教育及び安全教育に関する諸課題について研究協議を行い、学校保健・安全の充実発展に資するものである。

## 2 主題

生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進

～自ら健康で安全な活力ある生活を送ることができる子供の育成～

## 3 主催

文部科学省 鹿児島県教育委員会 鹿児島市教育委員会 公益財団法人日本学校保健会 鹿児島県学校保健会

## 4 期日

平成30年10月25日（木）・26日（金）

## 5 開催地及び会場

開催地 鹿児島県鹿児島市

会場 (1日目) 鹿児島市民文化ホール

(2日目) 鹿児島サンロイヤルホテル、ホテルウエルビューかごしま  
ベストウェスタンレンブラントホテル鹿児島リゾート

## 6 内容

### (1) 全体会（開会式・表彰式・記念講演）

- ・ 開会式
- ・ 表彰式  
学校保健・学校安全の功労者に対する文部科学大臣表彰を行う。
- ・ 記念講演

講演内容 「発育期のスポーツの意義と課題」

講師 日本臨床スポーツ医学会・理事長 川原 貴

### (2) 課題別研究協議会（別表）

10課題について、課題別に研究発表、研究協議、指導助言及び講義を行う。

## 7 日程

1日目（10月25日（木））

		11:30	12:00	12:30	13:00	14:00	14:45	16:00
	受付	一般参加者		受賞者 打合せ		開会式 表彰式	休憩	記念講演
		受賞者 受付					受賞 伝達式	

2日目（10月26日（金））

		9:00	9:30	12:00	13:30	16:00
受付		課題別研究協議 (5 課題)		昼食 休憩	課題別研究協議 (5 課題)	
					全国学校保健会中央大会	

## 8 参加予定者

- (1) 幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の校（園）長、副校（園）長、教頭、保健主事、養護教諭、保健体育科教諭、安全担当教職員、その他関係教職員
- (2) 学校医・学校歯科医・学校薬剤師
- (3) 教育委員会の学校保健・学校安全担当者
- (4) 学校保健会事務局等の学校保健・学校安全関係機関の職員
- (5) P T A 会員、その他都道府県・政令指定都市・中核市教育委員会で適当と認めた者

〔別表〕

平成30年度全国学校保健・安全研究大会 課題別研究協議会

課題	研究協議題	研究協議題設定の趣旨	研究協議の内容
第1課題	学校経営と保健組織活動	心豊かにたくましく生きる力を育てるためには、児童生徒の発達の段階を考慮して学校教育活動全体で取り組む必要がある。 そのため、学校経営の進め方と保健主事等の果たす役割並びに学校、家庭及び地域社会が一体となった組織活動の効果的な取組について協議する。	① 健康教育を中核とした学校経営の進め方について ② 保健主事を核として推進する健康教育の進め方について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した学校保健委員会の効果的な取組について
第2課題	保健管理	生涯にわたり心身ともに健康な生活を送るためには、ヘルスプロモーションの理念を生かし、学校や地域の実態、個々の子供に応じた対応を図る必要がある。 そのため、学校での適切な保健管理の進め方について協議する。	① 適切な健康診断の実施と事後措置の進め方並びに結果の活用について ② ヘルスプロモーションの考え方を生かした指導や保健管理の進め方について ③ 感染症・食中毒等の予防及び発生時の対応について
第3課題	心の健康	豊かな人間性と社会性を育み、心の健康の保持増進を目指す教育の進め方 自然災害や重大な事件・事故の発生に伴う子供の心のケアや、友人や家族などの人間関係の悩みなど、メンタルヘルスに関する問題が多様化している中、これらの問題への適切な対応が求められている。 そのため、心の健康づくりを目指した教育活動や校内外の組織体制づくりの進め方について協議する。	① 児童生徒の課題に即した心のケアや健康相談の進め方について ② 心の健康づくりを目指した教育活動の展開と環境整備等の進め方について ③ 学校、家庭及び地域との関係機関との連携を図った心のケアの進め方について
第4課題	現代的健康課題	多様化する現代的健康課題に適切に対応するための保健活動の進め方 学校における性に関する指導は、学習指導要領に基づき、児童生徒が性に関して正しく理解し、適切に行動できるようにすることを目的としている。 各教科等の特質に応じてどのように相互に関連を図っているか、またどのような指導の工夫があるかに加え、保護者や地域の理解を得るための方策、集団指導・個別指導、健康相談の連携について協議する。	① 発達の段階に応じた性に関する指導の進め方について ② 集団指導・個別指導、健康相談の連携について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した性に関する指導の進め方について
第5課題	歯・口の健康づくり	生涯にわたる健康管理の基盤となる歯・口の健康づくりの進め方 生涯にわたる健康づくりを実践するためには、自分の歯や口の健康に関心をもち、自分の課題を把握し、解決していくことができる資質や能力を育てることが大切である。 そのため、歯・口の健康づくりを目指した学校歯科保健活動の進め方について協議する。	① 歯科健康診断の効果的な実施と結果等を活用した健康教育の実施について ② 各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等との関連を図った指導計画の作成、実施、評価及び改善について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した学校歯科保健活動の進め方について

課題		研究発表者	講師・指導助言者（コーディネーター）
第1課題	学校経営と保健組織活動	① 神奈川県横浜市立市場中学校 校長 根岸 淳	○講師 日本体育大学 教授 今関 豊一  ○指導助言者（コーディネーター） 愛知県立松蔭高等学校 校長 大野 芳樹
		② 鹿児島県立鹿児島高等特別支援学校 養護教諭 ハール 祥子	
		③ 熊本県熊本市立白山小学校 教諭 岡田 夏子	
第2課題	保健管理	① 鹿児島県立加治木高等学校 養護教諭 土器屋 早苗	○講師 びわこ学院大学 教授 岩崎 信子  ○指導助言者（コーディネーター） 京都市教育委員会 体育健康教育室 副主任指導主事 長光 裕子
		② 宮崎県えびの市立真幸小学校 養護教諭 福松 加菜	
		③ 三重県四日市市立山手中学校 養護教諭 萩 美穂	
第3課題	心の健康	① 鹿児島県日置市立妙円寺小学校 養護教諭 赤池 美保	○講師 跡見学園女子大学 教授 松寄 くみ子  ○指導助言者（コーディネーター） 熊本市立帯山小学校 教頭 藤高 ちよ
		② 長崎県立清峰高等学校 養護教諭 辻 圭子	
		③ 埼玉県川口市立戸塚西中学校 養護教諭 真殿 愛弓	
第4課題	現代的健康課題	① 鹿児島県鹿児島市立西紫原中学校 養護教諭 藤田 倫子	○講師 東海大学体育学部体育学科 教授 森 良一  ○指導助言者（コーディネーター） 埼玉県幸手市立八代小学校 校長 鈴木 美江
		② 沖縄県立中部農林高等学校 養護教諭 島村 美由紀	
		③ 宮城県かわむらこどもクリニック 院長 川村 和久	
第5課題	歯・口の健康づくり	① 鹿児島県立鹿児島養護学校 教諭 外園 耕司	○講師 福岡県教育庁体育スポーツ健康課 課長 寺崎 雅己  ○指導助言者（コーディネーター） 愛知県立瀬戸高等学校 教頭 丸山 洋生
		② 福岡県桂川町立桂川東小学校 養護教諭 穴井 由貴	
		③ 埼玉県羽生市立東中学校 養護教諭 皆川 麻子 教諭 渡邊 マユコ	

課題	研究協議題	研究協議題設定の趣旨	研究協議の内容
第6課題	学校環境衛生	<p>快適な学校環境づくりを目指す学校環境衛生活動の進め方</p>	<p>快適な学習環境をつくるためには、環境衛生活動の充実を図るとともに、教職員及び児童生徒が学校における環境衛生について関心を持つことが必要である。</p> <p>そのため、学校環境衛生基準を踏まえた学校環境衛生活動の進め方について協議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 計画的・組織的な学校環境衛生活動の実施と事後措置について</li> <li>② 学校環境衛生管理の徹底を図るための取組について</li> <li>③ 学校薬剤師との連携による学校環境衛生の取組について</li> </ol>
第7課題	喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育	<p>安全で豊かな社会と健康を守り育てるための喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方</p>	<p>近年、青少年の喫煙や飲酒、薬物乱用が広がりをみせ、依然として深刻な状況にあることから、安全で豊かな社会と自らの健康を守り育てるための教育を充実する必要がある。</p> <p>そのため、発達の段階に即し、喫煙や飲酒、薬物乱用の防止教育を推進する方法について協議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育に関する指導計画の作成、実施、評価及び改善について</li> <li>② 小学校、中学校、高等学校における喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方について</li> <li>③ 学校、家庭及び地域社会が連携した喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方について</li> </ol>
第8課題	学校事故防止対策	<p>事件や事故、災害を未然に防ぐ事前の危機管理や発生時の適切な対応について</p>	<p>学校事故を未然に防ぐためには、日本スポーツ振興センター災害共済給付データを活用した事故分析手法を各学校で生かすとともに、同センターの調査研究についての理解を深める必要がある。</p> <p>また、事故検証やそれに基づいた再発防止策の立案と実施、継続、情報発信等の方法について協議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 日本スポーツ振興センターの災害共済給付データを活用した安全対策について</li> <li>② 事件や事故、災害の検証に基づいた再発防止対策の在り方について</li> <li>③ 事件や事故、災害発生時の適切な対応の在り方について</li> </ol>
第9課題	教科等における安全教育	<p>発達の段階に応じた効果的な安全教育について</p>	<p>生涯にわたり安全な生活を送るためには、自他の生命尊重の理念を基盤として、進んで安全で安心な社会づくりに貢献できる資質や能力を育成する必要がある。</p> <p>そのため、発育発達の段階における特徴を考慮しつつ、効果的な安全教育の進め方について協議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 安全で安心な社会づくりへの参画を意識し、自らの責任を自覚して行動する生徒の育成について</li> <li>② 的確な判断のもと主体的に行動し、地域の安全活動等に参加する生徒の育成について</li> <li>③ 自らの安全を守るために主体的に行動し、他の人々の安全にも気配りができる児童の育成について</li> </ol>
第10課題	関係機関等との連携による安全の体制整備	<p>学校・家庭・地域が連携した効果的な安全体制整備の在り方と通学路における安全確保の方策について</p>	<p>学校安全体制を充実させるためには、校内体制を整備するとともに、関係機関や地域ボランティア等との連携を深めることが重要である。</p> <p>そのため、学校、家庭及び地域社会が連携した効果的な安全体制整備や安全確保方策の在り方について協議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 学校安全充実のための効果的な校内体制の在り方について</li> <li>② 関係機関や地域ボランティア等との連携による防犯・交通安全の体制整備について</li> <li>③ 関係機関や保護者・地域住民等との連携による災害安全の体制整備について</li> </ol>

課題		研究発表者	講師・指導助言者（コーディネーター）
第6課題	学校環境衛生	① 鹿児島県鹿児島市立武小学校 養護教諭 早田 ゆかり	○講師 東京薬科大学 教授 北垣 邦彦  ○指導助言者（コーディネーター） 茨城県教育庁学校教育部 保健体育課係長 照沼 貴弘
		② 大分県立別府支援学校 養護教諭 薬師寺 志保	
		③ 一般社団法人宮崎市郡薬剤師会 理事 細川 寧子	
第7課題	喫煙、 飲酒、薬物乱用 防止教育	① 鹿児島県鹿屋市立寿北小学校 養護教諭 田畑 佑莉	○講師 埼玉県立精神医療センター 副病院長 成瀬 暢也  ○指導助言者（コーディネーター） 大阪府立清水谷高等学校 校長 橋本 卓爾
		② 佐賀県立大和特別支援学校 学校薬剤師 川副 陽子 養護教諭 西川 悠加	
		③ 宮城県大崎市立古川中学校 校長 鈴木 文也	
第8課題	学校事故防止対策	① 日本スポーツ振興センター 学校安全部 安全支援課長 米山 尚子	○講師 学校安全研究所 代表 戸田 芳雄  ○指導助言者（コーディネーター） 世田谷区教育委員会教育指導課 指導力向上サポート室 教育嘱託員 永山 満義
		② 長野県教育委員会 スポーツ課学校体育係 指導主事 柳澤 誠	
		③ 滋賀県立彦根工業高等学校 養護教諭 山本 愛子	
第9課題	教科等における安全教育	① 山梨県立甲府昭和高等学校 教頭 今村 勇二	○講師 東京学芸大学 教授 渡邊 正樹  ○指導助言者（コーディネーター） 新潟大学教育学部附属長岡小学校 副校長 松井 謙太
		② 鹿児島県曾於郡大崎町立大崎中学校 教諭 久林 昌平	
		③ 大分県佐伯市立八幡小学校 教諭 津村 俊輝	
第10課題	関係機関等との連携による安全の体制整備	① 東京都荒川区教育委員会 統括指導主事 大久保 和彦 荒川区立第四中学校 校長 宮沢 亨	○講師 山形市立第十小学校 校長 長岡 佳孝  ○指導助言者（コーディネーター） 滋賀県教育委員会事務局保健体育課 指導主事 北川 英樹
		② 鹿児島県始良市立松原なぎさ小学校 教頭 川路 勇策 ボランティア 追鳥 嘉正	
		③ 熊本県立第二高等学校 養護教諭 村上 幸	